

文京区補助金等チェックシート（実績検証用）

所属 福祉部障害福祉課身体障害者支援係

問合せ先 03 - 5803 - 1219

1 補助金の名称等

3年度調査

補助金の名称	医療的ケア児在宅レスパイト事業(医師指示書作成費補助金)							
根拠規定等	文京区医療的ケア児在宅レスパイト事業に係る医師指示書作成費補助金交付要綱							
創設年月	平成	30	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕	3年	終了予定年月
見直し年月	令和	3	年	3	月	経過年数 〔自動計算〕	1年	
見直しの内容	新型コロナウイルス感染症に伴う制度緩和の解除。							
予算科目	款	項		目		大事業	中事業	計画事業番号
	5 民生費	3 心身障害者福祉費		1 心身障害者福祉事業費		19 医療的ケア児在宅レスパイト事業	1 医療的ケア児在宅レスパイト事業	
補助金の種別	<input type="checkbox"/> 奨励的補助 <input type="checkbox"/> 施設運営補助 <input checked="" type="checkbox"/> 扶助的補助 <input type="checkbox"/> 投資的補助 <input type="checkbox"/> 利子補給							

2 補助金の概要

補助目的	在宅で生活する医療的ケアを要する障害児の健康保持や介護する同居の保護者等の介護負担の軽減を図るために実施する、医療的ケア児在宅レスパイト事業の円滑な利用を推進することを目的とする。						
補助事業等の内容	文京区医療的ケア児在宅レスパイト事業の利用申請に必要な文京区医療的ケア児在宅レスパイト事業医師指示書の作成に要する費用を補助する。						
補助対象経費の内容	医師指示書作成費						
補助事業者等	<input checked="" type="checkbox"/> 区民 <input type="checkbox"/> 地域活動団体 <input type="checkbox"/> NPO(特定非営利活動団体) <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> その他						
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕						
補助金の算出	<input type="checkbox"/> 定率 (補助率) <input type="checkbox"/> 定額 (補助額 2,700円・2,970円・3,000円)						
	<input type="checkbox"/> 補助単価 (補助単価 単位) <input type="checkbox"/> その他						
	〔その他の場合は具体的に記入〕						
公募の状況	非公募						
実績報告書時における 用途の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 契約書 <input type="checkbox"/> 決算書 <input type="checkbox"/> 成果物 <input type="checkbox"/> その他 ()						
補助・単独の状況	<input type="checkbox"/> 区単独		負担割合	区 1/2	国	都 1/2	補助対象者
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助(区上乗せ無し) <input type="checkbox"/> 補助(区上乗せ有り)		上乗せの内容・理由				

3 交付実績

(件、千円)

項目	30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
交付(見込み)件数	2	0	0	1
決算(予算)額	6	0	0	3
国庫支出金	0	0	0	0
都支出金	3	0	0	1
その他	0	0	0	0
一般財源	3	0	0	2
交付実績の特記事項				

4 補助金の交付の適否に関する基準 [○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当]

項目	内 容	判定	判定の理由(△、×の場合のみ記載)
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	
	基本構想、総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	
	補助金の交付による効果が認められるか	○	
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の補助金については不要	法令等に抵触していないか	-	
	団体等の活動内容が補助目的と合致しているか	-	
	団体等の会計処理や補助金の使途が適正か	-	

5 効果、課題及び今後の方向性

効果	「医療的ケア児在宅レスパイト事業」を申請するために必要な書類である医師の診断書の取得を援助することが出来る。
課題	多くの場合、訪問看護事業所が保有する医師指示書の写しを提供してもらえないため、相談はあっても補助申請には至らないケースが多いため、実績としては非常に少ない状況である。
今後の方向性	医療的ケア児が生まれたご家庭にとって、在宅レスパイト事業は非常に有用である。そのため、今後も医療的ケア児のいるご家庭のニーズを的確に把握し、補助制度の内容を検討していく。